

青森県立中央病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	大腿膝窩動脈病変を有する症候性閉塞性動脈硬化症患者に対する薬剤溶出性バルーンを用いた末梢血管内治療に関する多施設前向き研究
当研究の主任研究者(所属)	曾我 芳光(小倉記念病院循環器内科)
当院の研究責任者(所属)	櫛引 基(循環器科)
本研究の目的	本研究の目的は、大腿膝窩動脈病変を有する症候性閉塞性動脈硬化症患者に対し、薬剤溶出性バルーンを用いた血管内治療の実臨床における12ヶ月の治療成績の実態を明らかにし、その関連因子を探索することである。 本研究を実施することにより、薬剤溶出性バルーンを用いた血管内治療成績およびその成績に関連する因子の詳細が検討され、本研究で得られた知見は、今後の血管内治療に大いに役立つものと考えます。
調査データ該当期間	施設長許可後から2025年6月まで
研究の方法	●対象となる患者様 上記期間内に大腿膝窩動脈病変を有する症候性閉塞性動脈硬化症の患者に対して、薬剤溶出性バルーンを用いた血管内治療を施行することが医学的に最適な医療行為であると判断され、実際に治療を行った患者 ●利用する情報 電子カルテに記載のある診療情報 ・患者基本情報(治療日や病変情報など) ・患者背景(性別や併発疾患など) ・病変背景(病変の部位や性状など) ・治療情報(治療内容、手技時間など) ・追跡情報(治療後の経過など)
他の医療機関への資料の提供	本研究では試料(採血など)は取り扱いません
個人情報の取り扱い	研究に用いられる情報から氏名や住所等の患者様を直接特定できる個人情報には削除致します。 また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際にも患者様を特定できる個人情報は利用しません。
研究費用と研究者等の利益相反の状況	本研究は、医師主導型の臨床研究であり、企業や他の団体から資金提供を受けて行うものではありません。 本研究は通常の保険診療内で行われます。本研究の実施中に健康被害が生じた場合、研究担当医師は速やかに適切な治療、その他必要な措置を講じます。ただし、提供される治療には健康保険を適用し、金銭での補償は行わない。
お問い合わせ先	循環器科:櫛引 基 電話番号:017-726-8111(代表)